

活動結果報告書

平成 28 年 8 月 9 日

越前市議会

議長 城戸 茂夫 殿

議員氏名 大久保 健一



下記のとおり報告します。

日 程 平成 28 年 7 月 11 日 (月曜日) ~ 平成 28 年 7 月 10 日 (曜日)

活動先 議員報酬・議員定数 について集中講座 (福岡県)

活動目的 議員報酬・議員定数 について研修会に参加。
先進的自治体の取組を視察し、今後の情報集取に努む。

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、補助用紙を用いる。)

別紙のとおり

Series of horizontal lines for additional text or details.

平成28年8月3日(水)

誠和会 視察研修報告

1. 研修先 福岡県博多市
2. 研修日 平成28年7月12日(火)
3. 研修内容 議員報酬と議員定数について
講師 廣瀬 和彦 氏

『議員報酬について』

全国各市において議員定数、議員報酬もまちまちであるのが現状です。特に人口の少ない市においては、議員定数を減らし、議員報酬を上げている。また、議員定数は変えず、議員報酬を下げている市も出てきているようです。

議員の年齢を見てみますと、50歳以上80歳までの議員が全体の80%を占めています。若手の議員がなかなか出てこないのも現状であることは明白である。それは議員年金も廃止され、議員報酬においても上がる要素もなく、将来に対し不安感が募ると感じる。このような状況では若手も出馬することが難しい。

市民の方々に対し、議員が本会議、委員会、協議会などで何をしているのか。また、閉会中の活動等においてもしっかり理解していただけるよう議員としての資質向上に努めなければならない。市民の方々に信頼される議会人にならなければならない。

『議員定数について』

議員定数が5万人から10万人未満の自治体での平均定数は、平成26年で21.9人。5万人未満では、17.9人となっている。

平成の大合併(平成17年)前の平成16年と平成26年とは比較すると

平成16年(議員定数) 57,673 (議員数) 56,954

平成26年(議員定数) 34,130 (議員数) 33,438

と半減近く減少となっている。

議員は市民の声を議会に反映させなければならない。このようなことを考えると、議員定数は闇雲に減らすことではないと思う。もっと真剣に議論し、市民の方々に十分理解される議会、議員にならなければならない。それには私自身がしっかりとした議員にならなければならないと強く感じました。

1. 視察日 平成28年7月13日（水）
2. 視察先 山口県周南市
 道の駅『ソレーネ周南』

この道の駅は、直営店（3店舗）、テナント（7店舗）で営業している。特徴としては、防災機能が整っており災害時の避難場所としても機能する道の駅になっている。

直売所においては年内無休の24時間営業しているのが一番の特徴であった。特に、地元でとれた生鮮品が多く人気を集めていた。さらに、食堂等も地元産を頻繁に使ったメニューが多く、人気もあり地元の人たちも多く利用している。私達誠和会は奈良市長『道の駅構想』について政策提言をいたしました。今後も調査・研究してまいります。

活動結果報告書

平成 29 年 4 月 1 日

越前市議会

議長 城戸 茂夫 殿

議員氏名 大久保 健一



下記のとおり報告します。

日程 平成 29 年 3 月 30 日 (木曜日) ~ 平成 29 年 4 月 1 日 (金曜日)

活動先 小中高教育の問題解決と教育委員会視察について集中講座
活動目的 先進的取組の視察し、今後の情報集収を図る。

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、補助用紙を用いる。)

視察のとおり

Lined area for detailed report content.

平成29年4月1日(土)

誠和会 視察研修報告

1. 研修先 東京都池袋
2. 研修日 平成29年3月30日(木)
3. 研修内容 小中高教育の問題解決と教育委員会のあり方
講師 東京有明医療大学
千葉 喜久也 氏

いじめは小・中学校で増加傾向にあり、高校は減少傾向である。いじめは犯罪であることを十分理解しなければならない。

- ・暴力をふるえば暴行罪。相手に当たっていなくても、ふれなくても、暴行罪は成り立つ。
- ・暴力をふるった結果、ケガをすれば、傷害罪。
- ・暴力をふるっていなくても傷害罪が成り立つことがある。
- ・相手が精神的にまいってしまうことがわかっているのに、わざといやがらせをして、病気になれば、傷害罪。
- ・「あいつは～だ」、「あいつは～なことをした」などと、あること・ないことを言いふらしたり、ネット上に書いたりして、からかうのは、名誉毀損罪。
(内容が本当かどうかは関係ない。)
- ・「バカ」、「デブ」、「ブス」、「きもい」などとバカにするのは侮辱罪。
- ・「殺す」、「死ぬ」などと怖がらせるのは、脅迫罪。
- ・パシリなどやりたくないことを無理やりさせるのは、強要罪。
- ・カツアゲや、おごらせる、お金を無理やり出させるのは恐喝罪。
お金をむりやり奪うのは強盗罪。
- ・モノを盗むのは、窃盗罪。
- ・ノートや教科書にいたずら書きをしたり、上履きや体操服をぼろぼろにしたりするのは器物損壊罪。

このようなことをなぜ起すのかは、親らしくない親が多くなってきたことにあるようです。

- ・いじめっ子に育ってしまう親の姿勢“しつけ”と称して暴力をふるうと、暴力的な子どもに育ってしまう。
- ・親の排他的な行動が、子どもにも伝わり、親同様の行動を取るようになる。

「あの子とは違う」と仲間外れやいじめを引き起こすきっかけともなる。

- ・他者に対して批判的な言動をとる

親が他人に対して批判をいうのが口癖になっていると、子どもも批判的に物事を捉え、見た目でも批判できる「外見」を馬鹿にしたりする傾向がみられる。子供は親の言動に影響を受けて“いじめている”意識が低くなる。

いじめっ子にならないようにするには、普段から「認めて、見つめて、見届ける」ことが必要で、自信を持たせることが必要である。子どもは親が見てくれるという安心と自信につながる。

いじめはいじめられる子どもには原因がなく、いじめる側の問題として捉えることが必要である。

いじめの背景にある大人の誤解

- ・いじめは子どものけんかではなく犯罪である。
- ・親が介入しないと解決しない。
- ・背景には大人社会のいじめの反映がある。
- ・子ども時代のいじめが大人になっても続く。
- ・子どもとのコミュニケーションが不足している。
- ・いじめられたらいじめないでと言える社会づくりが必要。
- ・学校での命の教育の普及が必要。

全国的に問題になっている原発避難の小学生に対し『菌』発言が大きな問題となっている。特に担任から名前に『菌』をつけて呼ばれ、同級生からも同じように呼ばれ学校を休んでおり問題となっている。

昨年10月には大津市の中学2年男子が自殺した問題は、学校は全校生地にアンケート調査を実施し「男子生徒は自殺の練習をさせられていた」といった回答を得て市教育委員会に報告した。ところが市教育委員会は調査を早々に打ち切り、いじめと自殺との因果関係は判断できないと説明した。それが今になって遺族が市などを相手に起こした裁判の過程で全容が判明している。

学校がいじめに対してできることは

- ・いじめは常に起こりうるということを認識する。
- ・いじめられる側にも問題があるという発言は絶対にしない。
- ・学校内でのいじめは、加害者および学校の責任であること。
- ・いじめを疑わせる兆候を発見した段階で、保護者（いじめられている、いじめている両者）と連携をとる。
- ・学校も保護者も気づかないいじめもあるということ。
- ・できるだけ事実を収集する。
- ・速やかに保護者といじめに対する対応を協議する。

いじめには様々な原因があるが、その一つに学校でのいじめ教育・人権教育の不足が挙げられます。学校教育においては、子どもを権利の主体として尊重し、発達段階に応じた人権教育の推進を通して、自尊感情を培うとともに、生命や人権を尊重する心、他人を思いやる心など豊かな人間性を育てる必要があります。

県では道徳の時間を設けると発表しました。児童生徒の発達段階に応じて、人権問題を正しく理解し、自他の人格を尊重し、互いの個性を認め合う心や豊かな人間性が培われるよう努めていただきたい。

人生は1度しかないということを忘れてはならない。

1. 視察日 平成29年3月31日（金）
2. 視察先 静岡県富士市
道の駅『富士川楽座』

東名高速道路富士川SA直結であり、国道10号線からも利用でき週末になると多くの利用者でごった返しになると言われています。今回視察に行ったのは金曜日であり、雨も降る寒い日であったが、多くの人でにぎわっていました。この道の駅『富士川楽座』は4階建てになっており、4階がSAとなっている。1階は国道10号線に面しており、一般客の出入り口となっている。

1階は富士市観光案内所・富士川楽座旅行センター、2階は体験館として遊びや学び（科学）の体験が楽しめる。また、会議やセミナーに適した部屋があり、展示会・イベントを開催できるスペースが確保されており貸出ししている。3階はフードコートや市場、食事処があり、多くの人でにぎわっていた。特に食事処では地場でとれた海鮮ものに人気殺到していた。4階はパノラマレストラン、四季折々の富士山の写真や絵画等が展示されている。さらにプラネタリウムが設置されている。

この『富士川楽座』の一番の人気は富士山を真正面から見るができることから、旅行客をはじめ地元の方にも非常に人気がある。

「見る」、「遊ぶ」、「買う」、「食べる」の四拍子で大人気の道の駅であった。今後ともいろんな『道の駅』を調査・研究してまいります。